

## 【研究期間延長のお知らせ】

### 課題名：高齢者施設における認知症高齢者に対するアドバンスケアプランニングの実践と 看取りの質の関連

#### (1)研究の概要について

承認番号：第M2019-064番

研究期間：医学部倫理審査委員会承認後から 2029年3月31日

研究責任者：東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科・教授・緒方泰子

#### <研究の概略>

2020年に郵送にて行った質問紙調査の結果について、本研究の目的に沿って分析を行い、学会発表や論文等により成果発表を行う予定であります。そのため、研究期間を延長いたします。本研究は医学部倫理審査委員会の承認及び機関長の許可を得て実施しています。

#### (2)研究の意義・目的について(終了した調査票への回答等の利用目的)

目的：認知症共同生活介護における ACP(アドバンスケアプランニング) の実践状況と関連する施設の特徴及び入居者の方への効果(看取りの質との関連等)を明らかにし、認知症共同生活介護における ACP の実践および認知症を有する方への ACP の実践の示唆を得ることが期待されます。

#### (3)研究の方法について(すでに実施済み)

全国の認知症共同生活介護のうち、介護サービス情報公開制度で公開されている情報から、看取り介護を行っているとしている施設のうち、2000 施設の施設管理者、及び計画作成者各1名を対象に調査票を配布しました(すでに実施済み)。

#### (4)試料等の保管・廃棄と、他の研究への利用について

ご回答いただいた調査票は、回答をデータ化しパスワードを付けて外付けハードディスクに保存しております。研究終了後10年後に廃棄します。データを二次利用する場合には、新たな研究計画を立案時点で医学部倫理審査委員会に諮り、承認後、本学生命倫理研究センター等にポスター掲示します。

#### (5)予測される結果(利益・不利益)について

既に調査は終了しており、対象者にとっての利益も不利益もございません。

#### (6)研究協力の任意性と撤回の自由について

説明文書にて研究内容と「研究協力の任意性と撤回の自由」を説明し、調査票への回答・返送を以て同意とみなしました。本調査は無記名自記式となっており、個人の回答の特定ができませんため、予めお伝えしておりました通り、回答の撤回はできません。ご了承ください。

#### (7)個人情報の保護について

回答から個人を特定できないよう、数値化／記号化等を行い、パソコン入力によりデータ化し、公表時には統計的処理、個人・施設を特定できない記述を用います。

#### (8)研究に関する情報公開について

研究成果は国内外の関連学会等で公表しますが、個人や施設が特定されることはありません。

#### (9)費用について

研究参加により研究参加者には費用負担は生じておりません。謝礼はありませんでした。

#### (10)研究資金および利益相反について

本研究は2019 年 度政策医療振興財団研究助成金、2019 年度高橋美智大学院教育(看護管理)奨学金、令和元(2019)年 度ユニバーサル財団研究助成を用いて行われました。本研究実施にあたり特定企業との利害関係はありません。研究実施にあたっては、利益相反マネジメント委員会において審議され、適切であると判断されております。

#### (11)問い合わせ等の連絡先:

研究者連絡先：東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科・教授・緒方泰子

〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45 TEL&FAX 03-5803-5358 (対応可能時間帯平日10時～17時)

苦情窓口：東京医科歯科大学医学部総務掛 TEL:03-5803-5096(対応可能時間帯：平日 9:00～17:00)

※他の研究参加者の個人情報や研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画書や研究の方法に関する資料を閲覧することができます。ご希望の際は、上記の研究者連絡先までお問い合わせください。